

令和7年度事業計画

本協議会（略：福経協）設立趣旨に則り、福祉人材養成と大学教育を巡るさまざまな課題に会員校が連携・協力して取り組みをすすめるとともに、福祉系大学に寄せられる期待と社会的要請に応えていく。

1. 福祉人材養成の充実と福祉の魅力発信

- 1) 中央教育審議会「我が国の『知の総和』向上の未来像～高等教育システムの再構築～（答申）」において示された今後の高等教育の目指すべき姿に基づき、本会としては、福祉人材の育成・確保、ならびにソーシャルワーカーの職域拡大と地位向上に資する教育・広報活動を推進する。特に、地域社会の持続可能性に貢献する福祉系大学として、関係団体・省庁との連携を通じて、魅力的な教育の在り方の検討や、福祉の魅力発信に取り組む。
- 2) 「こども家庭ソーシャルワーカー」認定資格の動向について引き続き注視し、関係団体等との連携に留意し、関係省庁等への働きかけを含む、福経協として必要な対応に努める。また、2024年度から新カリキュラムでの国家試験実施となった社会福祉士について、引き続き資格制度や国家試験のあり方等を検討するとともに、社会福祉士を質的・量的に拡充していくための養成校としての取り組みについても検討を進める。
- 3) 大学間連携を始めとし、高大連携、社会福祉法人との連携等、「連携」をテーマに各大学の取り組みの共有を図り、福経協としての新たな「連携事業」についての検討を進める。
- 4) オンラインでの委員会活動の取り組みを軸に、引き続き会員校同士の情報交換の活発化を図る。あわせて、総会や外部公開形式の勉強会はハイブリット型での実施を追求し、対面で交流できる機会を増やす。
- 5) 本協議会の趣旨に賛同いただける会員校の拡大に、引き続き取り組む。

2. 各委員会の取り組み

引き続き下記の委員会を設置し、各課題解決に向けて取り組みを進める。会員校は、希望に基づき、各委員会に所属するものとする。各事業推進にあたっては、会員校間の連携強化につながり、全体で取り組むことの効果を追求し、進めていく。

◎令和7年度設置委員会

- ①総務・企画委員会
- ②研究活動・教育向上委員会
- ③就職委員会
- ④学生募集戦略検討委員会
- ⑤大規模災害対応委員会

1) 総務・企画委員会

- 各委員会や関係諸団体とも連携し、取組みの内容についての発信を強化していく。また、協議会ホームページの活用について見直し、福祉の学びを希望する高校生に活用されるサイトを目指す。
- 引き続き、学生募集戦略検討委員会と共催で、厳しい学生募集状況の改善に繋がる事業を推進する。
- 地域共生社会の実現に向けて、児童・家庭をキーワードに家族モデルからの変化や現状について理解し、子ども家庭福祉を担う専門職の養成に関わる大学の教育の展開方向や大学間連携・協働のあり方について考える契機となる外部公開形式の勉強会を開催する。
- 福祉を専攻する学生の「労働市場の拡大」に向けて、福祉業界だけではなく、広く他職種・他業種をも視野に入れて充実強化することを念頭に、成長産業や地域の価値を高める産業等に対する急速に変化する社会的ニーズを把握し、各地域の特性を活かした教育のあり方に関する情報共有に取り組む。

2) 研究活動・教育向上委員会

(1) 国家試験に対するアンケートの実施

社会福祉士国家試験終了後 会員校に対し、試験実施状況、不適切問題等についてアンケートを実施する。

(2) 学習・情報交換会の開催

① 情報交換会の開催

授業やソーシャルワーク実習についての諸課題や効果的な教育・指導方法について会員校の交流や情報交換を通して、よりよい学習支援体制の構築に向けて取り組む。

② 学習会の開催

福祉系大学を取り巻く諸課題を踏まえつつ、社会福祉の一翼を担う福祉系大学の将来展望が開けるような大学教育のあり方などをテーマに講師を招いた学習会を開催する。

3) 就職委員会

※総務・企画委員会の事業計画内で実施する

4) 学生募集戦略検討委員会

- 学生募集や広報、入試制度をテーマに取り上げた勉強会・研修会を開催し、会員間相互で共有を図り、学生募集の一助とする。
- 会員校のオープンキャンパス等の情報を集約し、協議会ホームページで継続的に発信する。
- 福祉人材育成における、統一テーマを検討する。

5) 大規模災害対応委員会

- 「ソーシャルワーカーの”声”プロジェクト」を今年度も継続して実施する。インタビューを1～2月に行い、3月に報告会を開催予定。

以上